

復水器洗浄装置の点検に関するご質問への回答について

地域の会 1 月定例会の後、質問をいただいた標記の件について、以下のとおり回答します。

記

<質問>

- ・ 40%に出力を下げた後、出力が元に戻ったのは、正月過ぎと思われるが、この点検に何人くらい関わったのか。半日で終わったとの説明であったが本当か。
- ・ 洗浄装置の点検とデータ改ざんに関係あるのか。もし関係あるなら、計画的な点検ではないのか。何故、暮れ・正月に当たったのか。他に故障 e t c . . . 、想定しての作業なのか。

<回答>

今回の事象は、復水器細管の内面をスポンジボールで洗浄している際に、貝、海草等（以下、「ゴミ」という）がスポンジボール捕集用のスクリーン（格子）に大量に流れ込んだことにより詰まりが生じたものです。

ボール洗浄は毎日自動運転により実施していますが、当日は荒天のためにゴミが通常よりも多くスクリーンへ流れ込んだと思われまます。

ゴミ詰まりによってスクリーンが閉じた状態を放置すると、スクリーン前後の差圧が上昇し、最終的にはスクリーンが破損する恐れがありますので、速やかにスクリーンの清掃を行う必要がありました。

そこで年の瀬ではありましたが、日頃から同スクリーンの点検作業をお願いしている協力企業に作業を依頼し、地元にお住まいの方々を中心に速やかに対応していただき、当社としても大変感謝している次第です。

作業準備開始から復旧作業までの時系列は以下のとおりであり、実質的な清掃作業の時間は2時間程度で終了しております。

なお、今回の点検作業に関わった人数は、20名程度です。

また、今回の作業はデータ改ざん問題と関連するものではありません。

<参考> 主な時系列

12/29	16時頃	事象発生
12/30	19時	出力降下
12/31	0時	作業準備開始（マンホール開放、水中ポンプ投入、残水処理）
〃	2時頃	清掃作業実施
〃	4時頃	機器調整（スクリーン（4基）の開度調整を実施）
〃	11時～13時	休憩
〃	13時頃～16時過ぎ	（スクリーン作動確認等）
〃	16:40	復旧作業終了
〃	19:40	出力上昇開始
1/3	7:30	定格熱出力到達

以上